

外国人介護福祉士候補者の**【国試対策情報】**

月報 第10号

第3弾 今からでもできる国家試験合格のために**【必読！！ 合格に必要な三大条件とは？】****1、受験者の能力を診断すること**

施設の関係者にとっては、介護士候補者は我が子のような愛着を感じる存在となっていると思います。そのために、第三者が気づくことも、当事者であるために、気づかない状況に陥りやすくなります。もし、我が子が病気になって体の調子が悪くなった場合には、親の判断だけでは適切な判断ができず、すぐに専門医の診断を求めることは常識でもあります。そして、その専門医が適切な診断を行い、どの程度の病状かを客観的に判断した上で、的確な医療処置をとることによってその病気が治ります。

言語能力も全く前述した状況と同じで、受験者の今の言語的な病状がどうなのかを客観的に判断しない限り、その病状を治すことも取り除くこともできません。もし、施設の方が我が子同様に考えている受験者の言語状態を見て、少しでも心配なことがあれば、すぐに専門家である「ことばのお医者さん」にかかり、適切な診断をしてもらうことをお勧めします。

2、受験者に向けての適切な診断をすること

「適切な診断」とは、言語能力を構成している細部の言語技能について、筆記式の試験でその結果を数値化し、各技能の到達度をはかり、総合評価する診断のことを言います。

例えば、一般の病院で行われる健康診断の時に、様々な項目の検査を受けますが、その結果を血液検査では、その血液の内容を数値化した「値表」が出ます。また、心臓検査でも、心電図などの表や、心臓の働きに対する「値表」が出ます。このように、言語能力の場合においても、各言語技能の「値表」を出してもらうことが、客観的な言語能力をはかるための「適切な診断」と言えるわけです。

3、試験問題を的確に読み、適切な答えを導き出す指導をすること

国家試験に対応する能力は、まず第一に、試験問題を読んでその内容が読解できる力が無ければ、試験問題に対する対応能力は無いと言えます。ここで一番重要なことは、試験時間が限られているために、その時間内で試験問題を正しく理解できる能力が重要です。

そして、マークシート形式であれ、解答文の文書が読解できなければ、正しい文を選択することは絶対に不可能です。即ち、試験問題に対応する能力とは、読解能力と同時に時間内で全ての問題に対応できる能力が必要というわけです。

第二に、選択文は、正しい専門知識を問う文ですので、専門知識力によって左右されます。よって、マークシート形式の試験であっても、まずは試験問題と解答文を正しく読み理解できることこそが最大の鍵となり、次に限られた試験時間内で全問に対応できる対応能力が絶対不可欠です。そして、最後に正しい専門知識が解答文の選択を決定することを認識する必要があります。

「合格」に結びつく、お得な情報を考察票でお伝えします

候補者の言語レベルは、「教師の質」「指導力」次第で大きく変化する！！

国家試験対策を、日本語教師と教育指導者任せにはしてはいませんか？

そして、施設の責任者と教育担当者は、今の現状に満足していませんか？

国家試験対応能力を養うためには、限られた時間しかありません。

したがって、候補者の学習は、計画的で効果的な方法を早急に立てなければ、国家試験合格は断念せざるを得ないこととなります。そのためには、「日々の学習状況」や「受験能力の到達度」を客観的に把握することが重要です。その効果的な方法としては、定期的にレベルチェック（筆記試験）を行い、到達度をみることです。その結果、候補者の弱点を見抜くことができ、適切な対処方法を探ることが可能になります。

当社に寄せられる関係者の声には、以下のようなものが多くあります。

1. 未だにワンワードコミュニケーションの範囲での対応しかできない。
2. 候補者の会話が意味不明で、意志疎通ができない。
3. 国家試験問題の読解ができない。

などなど

プロの日本語教師であれば、候補者の言語能力の「得て・不得手」を即座に判断して、指導できます。どのような言語能力の候補者であっても、少なくとも1ヶ月間もあれば、言語能力を伸ばすことができ、何らかの変化を生じさせることができます。

上記のような現象が、「職員の目からも明らかに続いていることが分かる」、または、「一向に改善する兆しがないまま、3ヶ月間以上続く」ようであれば、日本語教師または教育指導者の指導力に原因があると言わざるを得ません。

このような状況で、いくら国家試験の過去問題学習を続けていても、時間だけが経過するだけで、無意味な教育に時間と経費を費やしているにしかず過ぎず、合格できる見込みはないといわざるを得ません。

確実に合格させる方法をとることこそ、受験生と施設にとって、最大の利益となります。

★ ★ 国家試験直前対策「国家試験受験能力到達度チェック」を実施します。

外国人介護士候補者のために体系的に作られた「国家試験対策」を実施しています。

試験結果に基づき、「学習アドバイスと合格の秘訣」を考察票でお教えします。

まずは、現状を把握した上で、合格に向けて学習を進めてみてはいかがでしょうか。

【受験料：10,000 円】 ご希望の方は、FAX **03-6677-0632** までお送り下さい。

施設名：	ご担当者名：
所在地：〒	電話： FAX： メール
受験者名：	国名：

＜お問い合わせ先＞ ことばの研究社 電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632

メール： kotoba_ken@yahoo.co.jp

「国家試験受験能力到達度試験」を受験している施設からの報告

＜千葉県・H施設からの報告＞

今年5月に初めて、「国家試験受験能力到達度試験」の初回レベルチェックを受験し30%台のレベルでしたが、1ヵ月後の6月には60%後半、約2倍以上の言語能力が伸びました。受験前から考えると、受験者の学習意欲は大きく変化したことが特徴で、自分から積極的に勉強するようになりました。

＜山梨県・K施設からの報告＞

今年5月に初めて「国家試験受験能力到達度試験」のレベルA試験を受験し、一人は60%後半、もう一人は30%台と二名の言語能力に差がありました。

一人の受験者は、ワンワードコミュニケーションの範囲の答え方しかできていませんでしたが、3週間後に同じ試験を再度受験した結果、約2倍の言語能力に到達しました。

同時に、日本語の文構造も理解して、整ったしっかりとした文で答えることができる能力まで成長しました。教育担当者もその変化に驚いて、今後の国家試験合格の「学習指導に対して、考察票に基づいた指導」をやっていくと言っていました。

＜静岡県・M施設からの報告＞

入職当初から「国家試験受験能力到達度試験」を受験し、「国家試験の受験能力」を着実に、そして、計画的に養ってきました。考察票どおりに、施設職員と指導者が学習指導をしてきた結果、現在、レベルE試験まで終えた段階で、すでに日本人の専門学校生の言語能力レベルまで到達しています。国家試験問題も無理なく、的確に読みこなせる能力が身についています。今は、本番の試験に向けて、国家試験対策に入っています。

＜施設の声＞

- 1、今年の1月に国家試験を受験しましたが、二名受け入れ、二名とも不合格でした。最後まで、事業団の学習では伸びませんでした。ひらがな・カタカナがようやく習得できたくらいです。一応、国家試験を受験しましたが、受からないことは分かっていました。事業団は外部の団体に教育させて、ノウハウも持っておらず、指導もできないことは分かっていました。受け入れ窓口が事業団しかいないために、事業団に依頼するしかなかったが、新しく違う団体が出てくればいいのには思っています。次回の受け入れも検討はしているので、事業団の説明会には参加をしましたが、教育方針については信じていませんので、次回受け入れをするようなことがあれば、ことばの研究社の試験を受けたいと思っています。
(岡山県・G施設)
- 2、学習意欲も徐々に高まってきてはいます。体得できる国家試験の過去問題については、理解もできますが、抽象問題の理解が難しいのと、漢字熟語の読み理解が未知語が出てきたときに対応できずにいるため、読解もできなくなります。国家試験の合格については、現状のままでとても不安に感じています。
(栃木県・H施設)
- 3、事業団と日本語能力試験で受験者の能力を判断しています。日本語は順調に習得していると感じています。国家試験対策に入らないといけないと考えていますが、具体的な学習方法や指導が分からないために、職員の指導でズムズに習得できるかが心配です。
(岐阜県・A施設)

《 学習者が勉強したくなる！ 楽しく・分かりやすい専門教材 》

【基礎言語能力レベルⅠ】

- 【教材の特徴】 ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

日本語の基礎知識を身近な事例で、分かりやすい文で書かれており、特に「だれが・なにを・どこで・いつ・どうする」を使って、「規則性とその用法」が学べる。自在に会話力がつくような内容になっています。

※ 習得漢字数 010字～020字
※ 習得語彙数 520語～1,580語



【漢字のーと(1)】

□
『100万人の日本語No.1』に沿った構成となっており、「文型・文の作り方」を習得しながら、効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
日本語圏の学習者が漢字を習得する上で最適です。
また、中国人学習者にも同様です。



【ひらがなのーと】

□
ひらがな文字の習得に最適な教材です。字形や書き順練習だけでなく、日本語の基礎となる「質問と答え」の仕方に絶対必要な発音方法が学べます。
身近な事例を使って学習でき、社会生活に必要な語彙も同時に学べれる教材です。



【ひらがなカード】

□
表裏にはひらがな文字が一文字ずつ書かれて、裏面にその文字を使った語のイラストが色鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文中で目にした語を、自らで書く練習ができます。
基礎学習の日本語学習に最適な内容になっています。

【基礎言語能力レベルⅡ】



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

□
会社や学校、家庭内など場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な会話語を習得しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。
さらに、本テキストを終了すると、「自分の思いや考え方」を他者に表現できる能力が身につくように作られています。各ページで、日本語のあらゆる規則性と用法が自学できます。

※ 習得漢字数 420字～980字
※ 習得語彙数 570語～1,790語



【漢字のーと(2)】

□
『100万人の日本語No.2』に沿った内容で、漢字習得と文の作成練習だけでなく、文章に対する読解力も、同時に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の位置もあり、「漢字の成り立ち」に対する理解が、できる内容となっています。
日本語圏の学習者が漢字を習得する上で最適です。また、中国人には、日本の漢字を習得させる特徴があります。

【レベルⅠとレベルⅡの違い】

レベルⅠは、日本語を学ぶ上で重要な「規則性と用法」を学習して、「聞く・話す・読む・書く」を基本とし、日本人と同等の力を養うことができる能力を育てます。
レベルⅡは、会話文を中心に「読む・書く」を日本語で表現できる能力を養います。



【カタカナノート】

□
カタカナ語を使った場面描写イラストが各ページにあります。
このノートは、読解力と発音力が養われるようになっています。
場面を紹介する又は、外来語の理解と、その出し・練習をしながら、練習問題によって、読解力と文意の応用力を養えるようになっています。

【生活言語能力レベルⅢ】



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

□
テキスト・NO1とNO2とは違い、NO3では職場での日本語力が発揮できるような、限られた登場人物の日常的な生活と仕事を通して、「日本語の使い方(運用)」力が養えるように作られています。
そして、登場人物を通じて、会社での習慣や礼儀作法なども合わせて理解できることが特徴です。

※ 習得漢字数 550字～1,300字
※ 習得語彙数 1,110語～2,320語

【レベルⅢの特徴】

日本独特な表現、特に「語感」を習得し、人間関係を考慮した専門領域での日常会話ができる能力を高め、職場での意思伝達ができるようになります。 語の種類と文の種類を使い分けながら、要約する能力を養うことで、職場での報告書やレポートが書ける能力が身につけられます。
また、日本事情の知識も養われるのが特徴です。

学習段階	教材一覧	価格
レベルⅠ	「ひらがなカード」	¥ 1,050
	「100万人の日本語No.1」	¥ 2,550
	「ひらがなのーと」	¥ 1,800
	「漢字のーと 1」	¥ 1,360
レベルⅡ	「100万人の日本語No.2」	¥ 2,550
	「カタカナノート」	¥ 1,360
	「漢字のーと 2」	¥ 1,360
レベルⅢ	「100万人の日本語No.3」	¥ 3,000

※ 送料は別途

【国家試験受験能力到達度】チェック申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>			
施設名：		ご担当者名：	
所在地： 〒			
電話：		FAX：	
メールアドレス：			
受験者名：		国名：	受験人数： 名
<単発受験> ※ ご希望の受験形態に□「レ点」を記入願います。下記の料金は受験者1名あたりの金額です。			
□ 各受験段階で1回あたり @9,450 円×		名	合計金額 円
<継続受験>			
□ 受験段階初回からの場合 @7,350×10回=73,500 円×		名	合計金額 円
□ 受験段階Aからの場合 @7,350×9回=66,150 円×		名	合計金額 円
□ 受験段階Bからの場合 @7,350×8回=58,800 円×		名	合計金額 円
※ この試験は国家試験受験能力を養うために実施しますので、約三年間分の受験料金となります。			

【日本語教育教材】申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>			
施設名：		ご担当者名：	
所在地： 〒			
電話：		FAX：	
メールアドレス：			
※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。			
100万人の日本語No.1（ ）		ひらがなか一ど（ ）	漢字の一と1（ ）
100万人の日本語No.2（ ）		ひらがなの一と（ ）	漢字の一と2（ ）
100万人の日本語No.3（ ）		カタカナノート（ ）	
※ お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。			
ことばの研究社 〒164-0002 中野区上高田 3-2-13 石田ビル303			
電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632 メール：kotoba_ken@yahoo.co.jp			

より良い教育効果を上げるために！！

- ★ ★ この教材は【日本語を日本語で学ぶ】ことができるもので、学習者が自宅学習を積極的にでき、決められた学習時間以外でも、「独学で学べること」が最大の特徴です。
- 自信を持って教材を推薦致します。
- ご購入頂いた皆様方には、具体的な教材の「指導書」を同封しておりますので、指導経験が無い方でも、安心してお使い頂けます。
- 「指導書」に従い教育することで、学習者の反応が見違えるように変化しますので、教育効果が高まることは間違いありません。
- ご質問等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。